

研究課題名	遺伝性難聴症例における臨床像の検討
研究の意義・目的	先天性難聴の患者さんは 1000 人に 1 人の割合でいらっしゃると言われています。そのうち約 50%が遺伝子の変化により生じるとされています。先天性だけでなく、進行性難聴にも遺伝子に関連しているものもあります。耳鼻咽喉科でも遺伝子検査、遺伝子診断が必須となっていて、遺伝子のタイプにより難聴が進行するのかどうか、発症する時期などがわかっているものもあります。当院で施行した難聴遺伝子検査の結果と臨床経過とこれまでの報告と比較し、遺伝性難聴の臨床像の傾向を解明することが目的です。このことで、これからの難聴治療をよりよくすることができると考えています。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2023 年 12 月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2016 年 9 月～2023 年 12 月に大阪市立大学医学部附属病院の耳鼻咽喉科で、遺伝性難聴の診断や治療のために検査を受けられ方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、聴力検査結果、検査データ、CT や MRI 画像】 遺伝子検査結果を本研究に使用します。遺伝カウンセリングを希望される場合は、大阪市立大学医学部附属病院ゲノム医療センター・ゲノム診療科で対応させていただきます。
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院耳鼻咽喉科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院耳鼻咽喉科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉病態学 研究責任者 高野さくらこ
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉病態学 (担当者氏名) 高野 さくらこ 電話番号：(06) 6645-3871 メールアドレス：jibika@med.osaka-cu.ac.jp